

記録：第 347 回海外邦人安全対策連絡協議会

6月14日、「第347回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。主な議題は、コロナ後の生活安全対策上の懸念事項や入管トラブルの事例の有無について。

1. 冒頭

(大使館総括公使)

ここ2年間新型コロナウイルスへの対処が海安協の主要テーマであった。新型コロナの感染状況が落ち着いてきたことを受け、今回は試験的に事前にお伝えした項目に対しご出席者の皆様からご報告いただくこととした。進め方についてご意見あればお知らせ願いたい。

2. 治安ならびに邦人に関わる最近の事件・事故報告

(大使館政治班書記官)

今回報告事項は特になし。

(大使館警備班書記官)

まず、今までも再三注意をお願いしている出会い系アプリだが、まだ被害が続いているようである。利用はなるべく避けていただきたいところだが、利用する場合は十分注意の上ご利用いただきたい。

続いては携帯電話のひったくり被害について。平日朝7時頃、オートバイに乗った犯人に携帯電話ひったくられた。歩かないに越したことはないが、徒歩移動される際には、車道から離れる、周囲に注意を払う、カバンは車道の反対側に持つなど、防犯対策を講じていただきたい。

また、最近行動規制が緩和され今後旅行の機会も増えると思うが、バリ島の海で高波にさらわれる事故が発生している。注意願いたい。

今月大規模なデモが発生するとの情報あり。デモが予想される際には大使館で提供するデモ情報にもご注意をいただきたい。

3. 医療関連状況について

(大使館医務官)

新型コロナは感染数が減少しているがなくなったわけではない。新しい変異株がインドネシアでも発見された。変異株に対してはワクチンの効果が弱くなるため注意は怠らないように願いたい。

最近世界的にサル痘の感染拡大が話題になっている。従来アフリカの一部にとどまっていた天然痘を若干弱くしたような病気だが、最近他国に感染が拡大している。接触感染によって拡大するため、新型コロナのようなパンデミックを引き起こす病気ではないが、患者の数%程度は死亡に至るといふ。

また、今年は雨が多いことから、デング熱や、チクングニア熱といった蚊が媒介する病気はやる可能性あり。蚊に刺されないよう注意。ため水のあるところで蚊が発生するため、ゴルフ場等も含めそうした場所に不用意に近づかないよう気を付けていただきたい。

4. 各社・機関からの状況報告

今回は事前以下の2点について出席者から報告をすることとなっていた。

- ① コロナが落ち着いた現在、当地での生活安全対策上懸念される事項
- ② 入国管理上のトラブルの事例と対策

(以下①を「安全上の懸念事項」、②を「入管トラブル」と表記)

(企業からの報告)

安全上の懸念事項に関しては、最近家族の渡航が増えてきておりスリ、ひったくりの被害者となるのが懸念される。入管トラブルについても、最近出張者が増えてきてはいるか今のところ目立ったトラブル事例は聞いていない。

(企業からの報告)

現時点特段の安全上の懸念事項はない。また入管トラブルについても現時点ではない。

(企業からの報告)

日本からの出張者が日本帰国直前のPCRテストで陽性になり病院に収容されたという事例があった。滞在していたホテル含めホテルでは受け入れてもらえなかった。また出張者が増えてきてビジネスビザの取得に時間がかかっている。

(企業からの報告)

今後軽犯罪が増えてくるのが予想されるのでないか。入管トラブルについてはなし。

(企業からの報告)

現時点安全上の懸念事項に関しては特になし。安全等に関して海安協で情報交換させてもらいたい。入管トラブルについても特になし。到着ビザの早期再開が望まれる。

(企業からの報告)

コロナ関連の状況は変わらず。日本、インドネシア双方で検疫措置が緩和されており喜ばしい。ただ日本への帰国にあたってはPCR陰性証明がまだ必要とされるためご

注意願いたい。

(企業からの報告)

コロナが落ち着き、警察へのデモ許可が少しずつ増えてきており、デモには近付かない様にご注意いただきたい。入管トラブルに関しては、出張者が工場内で入管査察で摘発された事例が1件あった。入管側が出張者の情報を入手していたと思われるケースであり、社内でも情報を機密扱いにして頂き、ドライバーなどにも必要以上の情報を伝えないなどの対応をお願いします。

(企業からの報告)

コロナが落ちついてきて生活上の制限が緩和されたことに伴い、犯罪対策、安全対策を軽視した行動をとってしまう者が出てきている。企業としても赴任者に改めて安全教育を徹底するタイミングかもしれない。運転手のマナーについても注意したい。入管についてはトラブル事例はないが、出張者が増えてきているため、各自入管のトラブル回避のためパスポートの入国記録を確認しておくことが必要かと思う。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項は現時点ではない。先日イミグレによる抜き打ち査察を受けた。ITAS 待ちの駐在社員について通常必要とされないレターの提出を求められた。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項は現時点ない。入管トラブルもなし。ビザ取得に関する手数料が高く困っている。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項は現時点ない。入管トラブルもここ2か月なし。スカルノハッタ空港で新規赴任者が誤って空港外に出てしまい、空港内に戻る際に謝礼を要求された事例があった。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項は今のところなし。入管トラブルもなし。次回から後任と交代予定。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項は特にはないが、出張者が多くなってきており、週末をジャカルタで過ごすケースも多くなってきており注意喚起をする必要あり。入管トラブルはないが、ビザの取得に時間がかかってきている。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項は特にはない。入管トラブルはないが、新任者ビザの取得に2か月程度時間がかかっている。出張ビザ取得にも時間がかかっている。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項は現時点特にはないが、日本からの出張者が増えてきている。就業

時間外の行動でトラブルに至らないよう今後注意が必要と考えている。また、お酒の持ち込み許容量についての見解が違い没収されたという事例あり。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項は特になし。入管に関しては出張者のビザ取得に時間がかかっている点がネックになっている。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項は特になし。入管トラブルというほどではないが、入国時に ITAS をカメラでうまく撮影できていない等の当局側の不手際があった。次回から委員交代の予定。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項は現時点なし。入管関連では、出張者の訪問ビザの取得に時間がかかり予定が立てづらいなどの支障が出ている。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項、入管トラブルともに報告は受けていない。最近ビジネスビザを ITAS に切り替えるのに 2 か月半かかっており、銀行口座が開設できないなどの不自由が発生している。

(企業からの報告)

安全上の懸念事項については特になし。入管関連では、4-5 月の工場責任者の交代の際イミグレから立ち入り検査を受けた。また通関および警察当局から輸入業者に対する抜き打ち検査があった。

(団体からの報告)

安全上の懸念事項はなし。ここ 2 年間海安協では新型コロナを中心に取り上げられてきた。周囲の関心も高く情報開示は好評であったと感じている。引き続き邦人の安全に関するの貴重な情報交換の場として期待する。情報開示への協力も従前同様お願い申し上げたい。

(JICA)

安全上の懸念事項は特になし、最近出張者が大幅に増えてきており感染防止と防犯の注意喚起に留意している。入管トラブルはなし。

(国際交流基金)

安全上の懸念事項、入管トラブルについては特になし。本日の話を伺って駐在員、出張者に注意喚起の必要性を感じた。

(チカラン日本人学校)

安全上の懸念事項、入管トラブルについて特に報告事項なし。

(ジャカルタ日本人学校)

安全上の懸念事項、入管トラブルについて特になし。今年幼稚部・小学校合わせて

580名で新年度をスタートしている。現在新型コロナ感染者は児童が11名、教員が4名という状況。

(大使館領事部長)

皆様からの情報提供に感謝申し上げます。生活安全上の懸念事項は特にないというご発言が多かったが、出張者が増えてきており出張中に軽犯罪に巻き込まれるなどのトラブルも想定される。各社において安全に関するブリーフィングをお願いしたい。

またビザ取得に時間がかかるという声もいくつかあった。当館としても働きかけをしていきたいと考える。出張者の訪問を見計らったの抜き打ち査察についてもご報告があった。情報管理などにもご留意いただく必要があるかと思う。

5. 質疑応答

(企業からの質問)

今後軽犯罪が増えてくることが予想されるのでないか。邦人のみならずインドネシア全体の状況はどうか？

(大使館警備班書記官)

新型コロナが落ち着いたことで犯罪が増えたということはない。ちなみに4月の Ramadan時は開始当初は若干犯罪件数が増えたが当局のパトロール強化で抑えられたと聞いている。また最近は交通量が増えてきておりそれに伴って交通事故が増えている。ご注意ください。

次回海安協は2022年7月12日(火)に開催予定。